

# 文教厚生委員会視察研修報告

○日時 平成 24 年 7 月 31 日（火）～ 8 月 2 日（木）

○研修先

高齢化社会に向けてのいきがい事業と医療費削減に取り組む先進地を視察した。

## 徳島県上勝町

人口 1,900 人。高齢化率は 50%ながら老人医療費は県内最少。もみじをお金に換える「葉っぱビジネス」で、全国に知られている。売上は年商 2 億 6 千万円にも上る。

昭和 56 年、当時の農協職員のアイデアで始めた事業である。

70 歳を過ぎた人達がパソコンを使い、畑でも iPad など注文を受けている。なかには 1,000 万円を稼ぐ人もいるそうだ。

生涯現役の秘訣はここにあると思った。

## 広島県呉市

人口 25 万人。国立総合病院や、24 時間体制の救急医療施設が整うなど恵まれた環境となっている。一方、国民健康保険の支出が広島県で最も多く、市の財政を圧迫していた。

市では国保の医療費削減に乗り出し、ジェネリック医薬品の使用を主に生活習慣病の人にすすめ、その結果、年間 1 億 2,000 万円の医療費削減に成功した。

また、医療体制の整った市町で起こりがちな重複受診・頻回受診についても、保健師による訪問指導を実施するなどして、月 31 回の通院があった患者が 11 回に減るなど改善された。

今回の視察では、高齢者であっても仕事を持ち、生き生きと輝く人々が住む町と、国保の支出がかさみ削減対策を行っている市を見て、牧之原市の進む方向が見えたような気がした。



徳島県上勝町



広島県呉市